

日本遺産を通じた地域活性化計画実績報告書 別添参考資料（取組）

①取り組んでよかった点・効果が出ている点

- ・市及びおもてなし観光局の共催にて実施している「行田花手水week」や日本遺産である忍城などのライトアップイベントを開始して以来、街中の回遊性が向上し、人で賑わうようになった。観光物産館「ぶらっと♪ぎょうだ」の売上は開始前の4倍になっている。
- ・「足袋蔵のまち行田」として日本遺産に認定されたことで、それまで遊休資産であった足袋蔵の価値が見いだされ、店舗施設等に利活用されるなどにより集客力のある施設へと変貌を遂げ、街に賑わいが創出された点
- ・これまで少子高齢化の影響を受け、足袋産業の世代間継承が危ぶまれていたが、足袋にスポットを当てたことで民間活力が引き出され、足袋の体験・見学施設が誕生したり、若者の積極雇用などが生み出されるなど、足袋に触れる・足袋を受け継ぐ体制づくりが進んだ点

②取り組んで効果が出なかった点・改善すべき点

- ・足袋の技術者養成については、足袋の縫製工程の一部に高度な技術を要することから、目標人数に届かなかった。